



関西エアポートグループ、運営 3 空港一体でのキャッシュレス化を推進 WeChat Pay などの新規サービス導入やキャンペーンを開始

関西エアポートグループは、運営する 3 空港一体でのキャッシュレス化を推進すべく、関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港に、WeChat Pay・銀聯 QR・銀聯クイックパス・JCB コンタクトレスの新規ペイメントサービスを順次導入します。

関西国際空港は近年多国籍のお客様で賑わっており、それに伴い支払手段のニーズも多様化しています。また 3 空港において、年間 5,000 万人近くのお客様にご利用いただく中で、店舗内のレジの混雑も課題となっていました。このような多様性に対応するためのサービス拡大と、ストレスフリーなショッピング環境の提供を目的に、当社ではキャッシュレス決済の導入を積極的に進めて参りました。

今回、お客様のさらなる利便性向上を目指して WeChat Pay をはじめとした新規サービスを導入し、3 空港での決済オプションは 20 種類にまで広がります。これに先立ち、お客様にも店舗にもフレンドリーな環境づくりを実現できるよう、3 空港施設内の決済端末を単一化しており、店舗オペレーションの簡素化や混雑緩和に繋げることはもちろん、ますます多様化する決済手段にも対応できるようになります。今後は、各ペイメントブランドとの共同利用促進キャンペーンを実施するなど、キャッシュレスの取り組みをより一層推進していく予定です。

関西エアポートグループは、最新技術やサービスを積極的に導入していくことで、快適で便利な空港づくりに努めてまいります。

● 新規ペイメントサービス

ブランド	サービス内容	導入時期
Wechat Pay (微信支付) 	中国で最も利用されているコミュニケーションアプリ「WeChat (微信)」内で提供されている、スマートフォンでの迅速で安全な支払いができる QR コード決済サービス。関西空港では 5 月 20 日～6 月 20 日まで、導入記念キャンペーンを実施します。	5 月 20 日から関西空港にて導入 (直営免税店出発前予約サイトでは夏頃、大阪空港・神戸空港では順次導入予定)
銀聯クイックパス 	銀聯カードを発行する中国銀聯と商業銀行が共同開発したモバイルアプリを使用した非接触 IC サービス	4 月導入済
銀聯 QR 	American Express、Discover、JCB、Mastercard、銀聯、Visa の国際ブランド 6 社で構成される団体「EMV Co」が定めた標準仕様に基づいて提供されている、セキュリティ面で優れた銀聯の QR 決済サービス	6 月末頃を予定
JCB コンタクトレス 	JCB カードやスマートフォンなどを加盟店の端末機にかざすだけでショッピングができる、JCB ブランドの非接触 IC 決済サービス	4 月導入済

● ペイメントサービス導入状況

空港	導入サービス (2019 年 5 月 20 日以降)
関西国際空港 大阪国際空港 神戸空港	Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners、銀聯、Alipay、ICOCA 等の交通系電子マネー、iD、楽天 Edy、WAON、PiTaPa、QUICPay、Visa タッチ決済、Mastercard Contactless、AMEX コンタクトレス、WeChat Pay(関西空港のみ)、銀聯クイックパス、銀聯 QR、JCB コンタクトレス

各空港の新規サービスについては 5 月 20 日以降順次導入して参ります。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ
Tel : 072-455-2201

25 80 13
KIX ITAMI KOBE



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界 38 カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、44 空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、イギリス、スウェーデン、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で 250 社を超える航空会社が就航し、2017 年の旅客者数は 1 億 8,000 万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1 万 2,000 人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017 年の連結売上高は 14 億ユーロ、グループ全体の売上高は 32 億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構